

# 貸借対照表

株式会社アドテック

(単位：円)

令和03年03月31日 現在

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
<b>【流動資産】</b>	<b>【 3,901,725,313】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 3,120,065,019】</b>
現金及び預金計	1,817,906,714	買掛金国内	627,894,222
受取手形	3,897,552	買掛金海外	479,341,728
売掛金国内	1,485,100,545	買掛金(開発)	21,121,342
売掛金(開発)	20,805,941	短期借入金	1,600,000,000
未収入金	89,781,915	一年内返済長期借入金	166,800,000
関係会社未収入金	150,096	未払金	1,890,891
製品	392,357,023	関係会社未払金	6,482,106
原材料	61,246,734	未払費用	19,963,713
仕掛品	6,771,261	未払費用(社員経費)	444,261
仕掛品(開発)	2,048,500	未払費用(給与)	4,199,251
戻り品	14,826,690	仮受金	100
前渡金	3,443	未払消費税等	85,338,900
前払費用	6,781,973	未払法人税等	58,955,800
仮払金	46,926	預り金	709,032
		賞与引当金	38,623,673
<b>【固定資産】</b>	<b>【 62,213,218】</b>	役員賞与引当金	8,300,000
(有形固定資産)	( 18,421,221)	<b>【固定負債】</b>	<b>【 426,926,930】</b>
建物付属設備	3,100,370	長期借入金	396,550,000
付属設減価償却累計額	△910,917	退職給付引当金	29,476,930
建物付属設備(除却)	900,000	資産除去債務(長期)	900,000
付属設減累(除却)	△405,000	<b>【負債合計】</b>	<b>【 3,546,991,949】</b>
工具器具備品	53,627,083	純資産の部	
工器備減価償却累計額	△37,890,315	<b>【株主資本】</b>	<b>【 416,946,582】</b>
(無形固定資産)	( 2,381,596)	【資本金】	【 100,000,000】
ソフトウェア	2,381,596	【利益剰余金】	【 316,946,582】
(投資等)	( 41,410,401)	利益準備金	20,000,000
出資金	100,000	繰越利益剰余金	296,946,582
敷金・保証金	10,067,000	その他利益剰余金	296,946,582
長期繰延税金資産	31,243,401	<b>【純資産合計】</b>	<b>【 416,946,582】</b>
<b>【資産合計】</b>	<b>【 3,963,938,531】</b>	<b>【負債・純資産合計】</b>	<b>【 3,963,938,531】</b>

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	… 総平均法による原価法
製品	… 総平均法による原価法
原材料	… 総平均法による原価法
仕掛品	… 個別法による原価法

なお、貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 (リース資産を除く)	… 定率法を採用しております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
	建物 15年
	工具器具備品 3年～8年

(3)外貨建債権及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建て金銭債権債務は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(4)引当金の計上基準

①貸倒引当金

売掛債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支払に充てるため、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金当及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用して計上しております。

④役員賞与引当金

… 役員に対する賞与の支払に充てるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(5)ヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

… 繰延ヘッジ処理によっております。

②ヘッジ手段

ヘッジ手段

… 為替予約

ヘッジ対象

… 外貨建金銭債務

③ヘッジ方針

… 社内規程に基づきヘッジ手段とヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジすることを目的として実需の範囲内において実施しております。

④ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件が同一であり、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動又はキャッシュ・フロー変動を完全に相殺するものと想定することが出来るため、ヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件が同一であることを確認することにより有効性の判定に代えております。

(6)消費税等の会計処理

… 税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1)偶発債務

親会社の金融機関からの借入金債務に対し、債務保証を行っております。

(株)AKIBAホールディングス	… 167,600千円
------------------	-------------

3. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	… 41,694円66銭
-----------	--------------

1株当たり当期純利益	… 18,615円86銭
------------	--------------